

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	福祉祭補助事業【社会福祉協議会運営・補助事業】					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施 策 番 号	2 - 6	-
【施策名】 地域福祉の推進				総 合 計 画 書 (ページ)	65	
予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費
				事業	15	東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 市民 →	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 参加団体数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 福祉に対する理解を深めることにより、地域福祉を推進する。 →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 福祉祭収益金 ・市補助金（464,000円） ・主催者負担金（700,000円）
	③ そのために何をしましたか。 住民相互が助け合い、市民が地域福祉に理解と感心を持つため、福祉祭に係る費用の一部を補助するとともに、開催にあたり協力する。 →	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 補助金額

2 指標の推移			単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	団体	49	46	47	/	/
	成果指標	②の数値	円	1,164,000	1,164,000	1,164,000	/	/
	目 標	②の目標値		/	/			
	目標値設定の考え方		社会福祉協議会が収益する福祉祭における収益金額					
活動指標	③の数値	円	464,000	464,000	464,000	/	/	

3 経費	事 業 費（実績）		円	464,000	464,000	464,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財 源	一般財源		円	464,000	464,000		464,000
		特定財源		円	0	0		0
		（うち受益者負担）		円	0	0		0
	人 件 費 (目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1		0.1
		所要人数(再任用)		人				
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費			円	1,290,700	1,289,300	1,288,400		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	
	昭和48年に福祉祭の前身である福祉バザーを社会福祉協議会と民生委員・児童委員協議会と共催で開催した。昭和53年に名称を福祉祭に改め、社会福祉協議会と東大和市との共催となった。昭和56年には市の四大祭となった。平成9年から社会福祉協議会主催・東大和市が後援、の形となった。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
現在は実行委員会が主体となって実施している。収益は減少しているが、多くの市民・団体が活発に参加している。		

仕 事 の 内 容	福祉祭補助事業【社会福祉協議会運営・補助事業】			
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係 課長名 嶋田 淳

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 産業祭と合同開催にしてはどうかとの意見がある。 福祉団体や社会奉仕団体の活動により、広く市民へ地域福祉に対する理解と協力を広げている。			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民協働	取り組んだ	取組手法	⑤・⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 主催者の対応に改善を要する点が散見された。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 安全面の強化及び主催者側との連携が必要である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 社会福祉協議会があくまでも実施する福祉祭であるが、市としても実施にあたり敷地等を貸与していることから、十分な連絡体制を築く必要がある。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 綿密な連絡体制の構築			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。